

2026年1月

# 青空機械新聞

業界ニュースとトレンド紹介

発行  
第29号

## 行くぞ！2026年！！

年が明け、各業界の賀詞交歓会が開催されておりますが、我々の業界の先行きを示す日本工作機械工業会(通称：日工会)の賀詞会も行われ、2026年通期の受注見通しが1兆7000億円との発表がありました。昨年の受注合計額1兆6000億円(推定値)を上回り、非常に強い数字予測となりました。

来る好景気に向け、皆様の将来に大きく影響する設備投資を全力でサポートさせて頂きます。設備投資をお考えの方は、お早めにご相談頂けます様お願いいたします。

## 日本国内受注数字

2025年11月受注額：約319億円

※鍛圧・板金機械は含まず。

前月比**10.4%減**、前年同月比**6.8%増**となりました。

11月は建機、金型、航空機以外は前月比マイナスとなり、最もボリュームの大きい鉄工所からの受注が前月比**10.3%減**となったことが最大の要因で全体の数字を落としました。

航空機向けは高水準を継続しており、前月比**74.2%増**、前年同月比では**300%超**となっております。自動車も前年同月比**120%超**と2カ月連続で前年を上回っており、復調を期待させます。

### 発行元 会社概要

会社名：株式会社青空機械 (あօぞらきかい)

代表者：青木 佑典(あօき ゆうすけ)

主な事業内容：工作機械販売

住所：新潟県新潟市東区中山4-4-13-3

TEL : 070-8303-6632

FAX : 050-3588-8241

Email : aoki@bsmt.co.jp

## 2025年11月 米国工作機械受注について

2025年11月米国機械受注額  
**\$437.9million**(約678億円／\$1=¥155換算)

11月は前月比**19.6%減**、前年同月比では同じ数字となりました。

2025年1月から11月までの機械受注総額は**49億2000万ドル**(約7,630億円)となり、前年同期比で**17.8%**の増加となりました。

11月の受注金額は前月比でマイナスとなりましたが、11月の平均受注額より約**26%高**く、8月から始まった上昇基調は継続していると考えられます。

航空・宇宙分野は依然として高水準の受注を維持しており、金型、特殊工具、産業機械関連の受注も増加傾向にあります。また、北米は鉄鋼・アルミニウム生産を増加させている数少ない地域の一つである



る為、鉄鋼関連の設備投資が大幅に増加しています。全体的な傾向として、2026年の好景気を予想しての備えであると考えております。

2025年11月に受注額が減少したものの、工作機械市場は堅調な基盤を維持しており、12月の受注額を含めない1 - 11月の合計額が既に前年の通期額を**約5%上回**っています。2026年も引き続き、税制優遇措置と金融緩和が製造業への追加投資を促進する可能性が高いと考えます。

(AMTレポートより)

## 2025年12月 米国自動車販売台数(新車)

2025年12月米国新車販売台数は前年同月比**2.5%減**の**146万2,226台**でした。通年では前年比**1.9%増**の**1,626万8,873台**でした。※米国では**1,700万台/年を超えると自動車販売が好調とされております。**

昨年9月末で終了した電気自動車(EV)の税制控除の影響により、EV需要が大幅に落ち込み、関税対象の製品が従来の非関税対象在庫を置き換えていく中で、価格が

上昇しつつあり、販売が鈍化しています。更に一部のメーカーでは、中国資本のオランダ半導体メーカーNexperia問題に起因する世界的な半導体不足の影響を未だに引きずっています。値ごろ感のあるモデルへの志向、高い借入コスト、関税影響による値上げ圧力、EV需要の鈍化などのマイナス要因の払拭は容易ではなく、2026年も引き続き新車販売の足かせになるものと推測されています。

米国メーカーの12月販売は、**GM**が前年同月比4.1%減(通年では前年比5.6%増)、通年でGMCブランドが過去最高を記録しました。**フォード**は7.2%増(同6.4%増)、**ステランティス**は2.9%増(同3.1%減)、**テスラ**はEV税制控除終了の影響が直撃し18.1%減(同9.4%減)と3カ月連続で大幅減となりました。テスラは対応策として、昨年10月に「Model 3」と「Model Y」の廉価グレードを発表し、予約を開始しましたが、今のところ効果は表れておりません。

日本車の12月販売は、トヨタが10.3%増(同7.9%増)、通年ではEVが17.6%増(販売比率47%)となるとともに、レクサスブランドが過去最高を記録しました。ホンダは12.5%の大幅減(同0.5%増)となりました。同社はNexperia関連の半導体

供給不足により、北米工場で3週間生産を調整しました。既に通常稼働に戻っているものの、在庫減による販売への影響が続いています。また、ミッドサイズ電気SUV「プロローグ」の販売が88%減と大きく落ち込んでおります。日産は10.4増(同0.2%増)となったものの、インフィニティブランドは8四半期連続のマイナスとなり、厳しい販売が続いております。スバルは7.2%減(同3.6%減)で、パンデミックや半導体不足の影響があった2022年以降初めてのマイナスに転じました。輸入車比率の高いマツダは18.9%減(同3.3%減)、全社輸入の三菱は22.9%減(同16.2%減)とトランプ関税の影響を回避する事が出来ませんでした。  
(マークライズより)

## 人生いろいろ、機械の買い方もいろいろ

経営者の考え方、会社の経営状況により設備投資の資金繰りは様々かと思います。経営者の方には釈迦に説法ですが、改めて主な機械購入3方法についてそれぞれの代表的なメリット・デメリットをご説明いたします。

### ◇自己資金(無借金)で購入◇

<メリット>

- ①借金をしていない安心感、次世代へ借金を残さない親心。
- ②自己資金内の投資の為、無茶な投資の可能性は低い。

<デメリット>

- ①自己資金を使う為、現金が減ってしまう。
- ②資金が貯まってからの設備投資の為、ビジネスチャンスを逃してしまった可能がある。

### ◇銀行借り入れで購入◇

<メリット>

- ①自己資金(現金)を温存する事が出来る。

②ビジネスチャンスを逃さないタイムリーな設備投資が可能。

<デメリット>

- ①保証協会費用、金利負担有り。  
→しかし、これらは経費算入できます。

②借りられる金額 ≠ 返済できる金額の場合有り。

### ◇リースで購入◇

<メリット>

- ①毎月決まった金額を経費計上する為、経理が簡単。
- ②銀行の融資枠を温存する事が出来る。

<デメリット>

- ①銀行借入に比べ、割高である?  
→費用の中には固定資産税、動産保険が含まれる。
- ②いつまでも自分のものにならない?  
→大きな勘違いです。確かに一部の悪徳リース会社では永遠に再リース契約を結ばれますが、通常7年リースの場合は、リース期間終了後は3回(年)の再リース契約後に無償譲渡となります。  
※再リース料(年額)は当初リース料(年額)の約1/10です。

## 機械購入の資金調達方法のアドバイスもさせていただきます！！

機械、工場内設備に関してご質問等がございましたら、お気軽に当社までお問合せください。

**TEL : 070-8303-6632**

**FAX : 050-3588-8241**

**E-mail : aoki@bsmt.co.jp**

青空機械

検索



また、新規の機械購入以外にも既存設備のアフターメンテナンスについてもお手伝いをさせてください。  
例)今は存在しないメーカーの機械修理、現在の窓口商社を変えたい等々。

まずはお気軽にご連絡ください！！

### 青木社長の略歴

1986年6月生まれ(満39歳)

2009年 (株)兼松KGK 入社

2010年

↓ 同社新潟営業所勤務

2016年

2016年 日鉄物産マテックス(株) 入社

2017年

↓ 日鉄物産(株) 米国法人出向

2020年

2021年 ユアサ商事(株) 入社

↓ 同社新潟支店勤務

2024年

2024年 (株)青空機械 設立